

「青葉区民のつどい」 申込みは要りません。どなたでも参加できます。

## テーマ 考えていますか？「食の安全」

日時：平成19年11月17日(土)

午後1時開場 午後1時半～4時半

場所：青葉区役所4階会議室

筆記通訳あり  
保育あり  
(予約11月10日まで)

口に入るまで……表示、パッケージ、安全基準 口にするとき……食育、農薬、添加物

主催：青葉区民会議

共催：青葉区連合自治会長会 青葉区役所

1年に一度区民のみなさんと「身近な課題」を話し合うのが「つどい」です。今回は最も大切なそして誰もが不安に感じている「食の問題」をテーマに取り上げました。

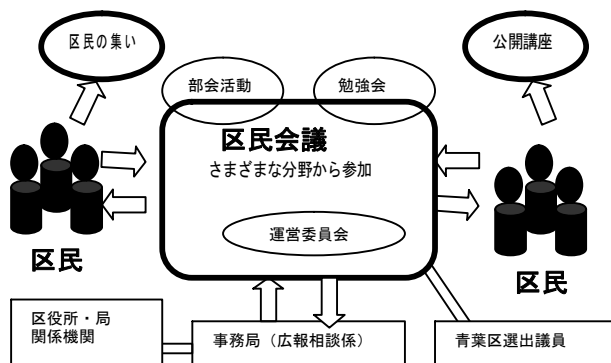
青葉区の課題、横浜市の取り組みを専門家からお話していただきます。行動をするのは「あなた」と「区民会議」です。

### 区民会議とは

■どんなメンバーで構成しているのですか？(誰でも参加できるのですか?)⇒公募の委員と、自治会町内会や各種団体からの推薦委員とで構成しています。公募委員はいつでもどなたでも参加できます。

■どんな役割を持っているのですか？⇒区民と行政の架け橋として広く意見を集め提言としてまとめなおして区や市へ提出します。

\*20年度横浜市予算への要望・提言は9月14日に提出しました。



青葉区役所前にバス停を移動

■どんな具体的な活動をしているのですか？

⇒テーマや課題に分かれて勉強会や見学、行政と情報・意見の交換をします。

\*活動については2面3面に紹介しています。

■過去の大きな成果は？⇒区役所駐車場の改善やバス停留所の移設など

■区政との関係は？⇒区政運営方針などの説明を聞いたり意見交換をします。

また要望提言は区を通じて区や市へ提出します。青葉区民会議の事務局は区政推進課広報相談係に置いています。青葉区選出の市議員や県議員の方々には顧問となっただき意見を聞く機会を設けています。行政からは関連情報の提供があります。

第7期では次の団体、自治会町内会より委員を推薦していただきました。

青葉区PTA連合会、(社)みどり青色申告会 青葉区医師会 青葉区子ども会育成連絡協議会 青葉区更生保護女性会  
青葉区歯科医師会 青葉区獣医師会 青葉区食生活等改善推進員会 青葉区体育協会 青葉区聴覚障害者協議会 青葉区  
友愛活動推進員連絡協議会 青葉区老人クラブ連合会 青葉肢体障害者福祉協議会  
中里北部連合町内会、青葉台連合自治会、山内連合自治会、新荏田連合自治会、すすき野連合自治会、美しが丘連合自治会

## 区民会議部会活動

## 自然環境部会

自然環境部会は、青葉区の自然環境の保全と育成を目的に提供された行政情報や、区民のご意見をもとに調査研究を行い、横浜市や青葉区あるいは県に提言をしております。

## 1 川と緑(水緑環境の保全)の活動

水辺環境保全のため、雨水調整池ビオトープのお世話をしたり、青葉区の豊かな緑を次世代に残したい思いから、川と緑についての多くの調査・研究活動をしています。そのような調査活動の中で、県と相談し提案した一つの事例を紹介いたします。

## 鶴見川の川治いの散策路が歩きやすくなりました！

青葉区の中央部を流れる一級河川「鶴見川(谷本川)」。その兩岸には田園風景が広がり、少し奥にはまだ里山や谷戸の風景が残る絶好の散策路です。寺家ふるさと村から市ヶ尾駅へ向かう左岸は青少年サイクリングコースに指定されておりますが、夏になると雑草が生い茂り、すれ違いに困難な状況になっていました。管理者の県も定期的に除草していますが、区と共に県を訪問し特に雑草の多い箇所を指摘した結果直ぐに草刈が実施され、歩きやすい川治いの道になりました。このような身近な環境改善から、区内の自然環境や景観を保全し、健康で住みやすいまちづくりを行政と協働で推進していきたいと考えています。



草刈り前



草刈り後

## 2 農地・緑地の保全と活用活動



今では色んな野菜や果物が四季を問わず私達の食卓を賑わせています。しかし旬の農産物や本来の野菜の味・香りがなくなってきました。農地・緑地の保全と活用グループは平成17年度から継続して「地産地消」を推進し、啓蒙活動をしています。地元で採れた旬の新鮮な農産物を生産者との交流から安心して食べることができ、

青葉区の自然環境の維持に欠かせない農地・緑地の保全にもつながるからです。近くの直売所をご利用ください。

現在、農家の皆様の協力を得て、「あおば区野菜・果物直売所マップ」作りを進めております。

## 3 家庭ごみ削減・地球温暖化防止活動

家庭から排出されるごみの減量や二酸化炭素(CO2)の削減など「循環型社会の形成」に貢献する活動に取り組みます。ごみの発生抑制(リデュース)・再利用(リユース)・再生利用(リサイクル)の3R行動から、不必要なものは求めない(リフュース)、日々のライフスタイルを見直す(リシンク)を含めた5R活動への発展、さらに積極的に二酸化炭素(CO2)を削減する行動について、その手法・手段を調査研究し、「今市民の1人ひとりができること」の観点から、市や市民の皆様へ提案していきます。

助標識の整備を提言しています。今年6月14日には「道路交通法の一部を改正する法律」が成立し、自転車通行ルールの見直しもされます。誰にも快適な「みち」になるよう出来ることを考えています。

## 【あおばエコムーブ】

青葉区役所では、平成17年より「交通アクセス改善検討委員会」を設置し取り組みの一つとして、「自家用車中心の交通行動の転換(あおばエコムーブ)」を掲げています。

自転車は、環境にやさしく、健康に寄与し、経済的である一方で、自転車対歩行者の事故増加(この10年で4倍以上!)やマナーの悪化(無灯火・携帯電話をしながらの走行、放置自転車)が指摘されています。

6月27日、区民会議委員と青葉台駅周辺の「自転車通行可の歩道」を歩き、歩行者と自転車の輻輳、放置自転車・看板等の障害物、「自転車通行可」の標識が見えにくいなど、様々な課題があることを認識しました。

今後、区役所としては、「あおばエコムーブ」の一環として、自転車のプラス面とマイナス面をふまえて、「安全に・快適に・多くの人が」自転車を利用するにはどのように取り組めば良いのか、区民のみならずと協働で考えていける今回のような機会を多く持ちたいと思います。(寄稿青葉区役所区政推進課)

## 防災(減災)・防犯・交通部会

今期の主な活動として、ここ2-3年各地で社会問題化し始め、また身近なところでも事故を耳にするようになった自転車の歩道通行問題を取り上げています。地球環境保全の視点から肯定的に捉えつつ、歩行者の安全確保のためには、どのような「歩行者と自転車の共存」が可能か現地調査や視線の違う市民の意見を聞きながら提案作成にむけて活動を始めています。

その第一歩として、区内に15ヶ所程ある歩行者・自転車共用歩道の実態調査を行うこととなり、6月27日の夕方、行政の視点からこの問題に取り組んでおられる区役所区政推進課の中川課長以下数名の職員の方々と合同で青葉台駅周辺・環状4号線沿いの歩道など3ルートを歩き状況を記録しました。

また、青葉台以外の区内のすべての対象歩道については部会員が分担調査を進め、資料の分析、整理を行います。20年度横浜市予算への要望・提言には早急に改善して欲しい点として補



補助標識



4台も併走



迷惑駐輪

## 区民会議部会活動

## 福祉・コミュニティ部会

団体推薦と公募の計13名の部会です。新規メンバーが半数以上のため、次の内容について話し合いをし、お互いを知ることからスタートしています。

- ①前期2年間の部会活動共有化
- ②福祉関連行政の現状把握
- ③福祉関連団体の活動の実態把握
- ④区民が抱えている福祉の課題
- ⑤今期部会の取組みの方向性

具体的な取組みとしては、

②について、「青葉区地域福祉保健計画」の進捗と今後の予定などについて、6月15日に、区福祉保健係長を囲みヒヤリングを実施しました。

本計画の作られた背景、基本的考え方、協働での取組みの現状などの説明と共に、「チャレンジあおば2007」から福祉事業とその進捗について、説明がありました。質疑応答の後、本年度は、上記計画の中間評価年であることから、区民会議としても、次期計画策定に向けての取組みに参加・協力して行きたい旨を申し伝えました。

③については、

A.青葉区社会福祉協議会(以下、区社協と略)の福祉活動について、区社協次長から、7月20日に、話を聴く機会を得ました。区社協は、社会福祉法人。主たる活動は、障害児・者／在宅介護者への活動支援、子育て支援、地区社協(14ヶ所)活動支援、ボランティア活動支援、送迎サービス事業、福祉110番、あ

んしんセンター、善意銀行などの諸活動を行い、区民の福祉相談窓口になっています。区民の皆さんへ、更に強くアピールし、この施設への利用頻度などを高めて行く必要性を強く感じました。(写真右:社協のある「ふれあいあおば」)



B.「地域療育センターあおば」(黒須田小学校隣接)の見学を9月7日に実施しました。19年1月に竣工、4月から、知的障害児または肢体不自由児(5歳以下)の診療・療育などの通園施設としてオープンしました。定員90名に対し、現在、70名の児童が通園しています。送迎バスは2台。診察施設、療育室、プレイルーム、家族室、スヌーズレン室など充実した施設と各児童に合わせた心温かい療育の一端を、至る所で垣間見ることが出来ました。



⑤については従来の福祉の取組みと平行し、「安心づくり」「健康づくり」「生きがいづくり」「住み良い町づくり」を進めていく新しい施策を提言していきたいと考えています。

## 教育・文化部会

今期は次の2点に絞り、活動を始めました。

## ①「特色ある学校づくり方針」の青葉区における浸透状況の調査や進まない原因分析

青葉区内では学校の新設が望めない方向にあり、また学校により児童・生徒数の多少に顕著な開きがあること、横浜市内で一番私立小中学校への進学率が高いなどさまざまな問題を考えたとき、横浜市として策定された「横浜教育ビジョン」の進ちょく状況の見極め作業の提案がありました。

「横浜市教育ビジョン」は平成18年10月に策定され、それにしたがって「推進プログラム」ができています。横浜らしい総合的な学習時間の再構築があげられ、各区特色のある学校づくりが求められています。青葉区ではどのように進んでいるのか、実態を知り

たいところですが、また、他自治体の取り組みの事例に、世田谷区の教育改アンケートやヒアリングを通じて生の声を聞きながら、青葉区らしい学校づくりを区民と考える機会を作ります。また他自治体の取り組みの事例に、世田谷区の教育改革「日本語」教育特区一などを聞く機会として公開講座も企画しました。

## ② 全国各地で取り組みが進み始めた「生涯現役プロジェクト」を青葉区に導入する取り組み方法の研究

\*生涯現役プロジェクトとは、生涯現役社会づくり運動のことで、1人当たりの老人医療費を抑え、高齢者の生きがい、目標を市民側で作っていく環境整備のことで。

## 公開講座

## 「子どもの自主性を育む日本語教育」

講師: 那須秀康氏(世田谷区教育委員会委員長)

世界の中にあって日本の自主性を保てる子どもを育てるために必要な日本語教育。なぜ国語ではなく「日本語」教育なのか。すでに「日本語特区」を導入していた世田谷区教育委員会の委員長に就任した理由を、海外勤務の長かった講師にフランスの教育と比較してお話して頂きます。

日時: 11月10日(土)10時~12時

場所: 藤が丘地区センター(田園都市線藤が丘駅下車徒歩7分)

定員: 60名

(共催)青葉区役所(申込締切)10月31日

(申込方法)氏名・電話番号をモシ

青葉区広報相談係へFAXしてください。(FAX番号)045-978-2411

参加者募集中

## あなたも区民会議に参加し、活動の喜びを共有しませんか？

区民会議はさまざまな分野や活動をバックグラウンドに推薦を受けて参加する方と公募で参加する方で構成されています。第7期の委員から区民会議に参加しての感想や思いを語ってもらいました。

### 公募 内野正信

### 自然環境部会

竹竿で追ったギンヤンマ、鎮守の森の椎の実、電球に集まる蛾やコガネムシなど、幼い頃の自然に接した思い出は忘れられません。東京の目黒で育ち現在は横浜都民7年目ですが、青葉区の自然環境の保全と育成のため、「区民会議」に参加しました。勉強、研究、見学、交流などの3年間の活動を通して、多くの方々の知識、考え、行動に接することが出来ました。今後、鎮守の森保全など、ひとつひとつ着実に活動してまいります。

### 公募 石井正司

### 教育・文化部会

横浜市教育委員会の「生涯学習コーディネーター養成講座」を受講し、NPOおもしろ科学たんけん工房の活動に参加し、子供たちの理科離れ防止対策に取り組んでおりました。子供たちへの働きかけを増やす機会を探していたおり、青葉区広報で「青葉区民会議」を知り、応募いたしました。子供も含め、広く区民の方に、「区民会議」の活動についてアピールする機会を増やし、区民と区民会議の距離を縮めることが課題と思っています。

### 推薦 砂金聖二(中里北部連合自治会)

### 防災(減災)・防犯・交通部会

自治会の経験者ということで委員に推薦されました。「区民会議」については、白紙の状態でしたが、4ヶ月を経て少しずつ理解出来るようになりました。自治会は任期も1年、活動範囲もその地域内に限られていましたが、「区民会議」は他の区や市全体にまで活動範囲が広がっています。

意欲あふれる委員と努力を惜しまない行政の方々が、問題解決や目標達成に向かって、真剣に取り組んでいる姿には感動致しました。「広聴」や「協働」の意義を理解することから活動の第一歩を進めたいと思っています。

### 推薦 井上良貞(青葉区聴覚障害者協議会)

### 防災(減災)・防犯・交通部会

聴覚障害者団体の会長として、耳の遠い高齢者と聴覚障害者の声を反映させ、誰でもが暮らしやすい街づくりを勉強したいと思い推薦を受けました。阪神淡路大震災など避難所では、おにぎり配給、風呂、毛布配りなどの情報不足のため、多くの聴覚障害者が悔しい思いをしました。聴覚障害者は、災害に敏感で毎日不安な生活を送っています。「区民会議」を通して聴覚障害者と耳の

**編集後記**  
区民会議に始めて参加し、広報委員長の大役を引き受けました。今期の初めての号をお届けします。従来「区民のつどい」は報告という形でお届けしていましたが、今号では開催のお知らせを掲載することができました。参加をお待ちしています。地域が抱えている課題を共有し、行政に提言し、協働してまちづくりを進めていく、この活動にあなたもぜひ

遠い高齢者について区民に啓発しなければと思っています。しかし、活動を始めてみると、障害者だけでなくいろいろな立場におかれている区民全体を考えなければとも痛感しています。「井の中の蛙」というより「井の中のおたまじゃくし」といってもよいほど今まで視野が狭すぎたと身にしみえています。

### 推薦 福田庸子(青葉区友愛活動推進員連絡協議会)

### 福祉・コミュニティ部会

所属団体の会長から区民会議に参加をしてみないかと勧められました。実は、「区民会議」とは何をする会議なのかも知らずに受けてしまいました。しかし、2・3回会議に参加しているうちに、色々な分野で活動されている方々のご意見を聞き、高齢化、障害者、子育て支援について勉強してみたいと思うようになりました。高齢化については、介護予防、介護施設の充実などについて提案し、安心して生活できる青葉区にしたいです。

## 20年度横浜市予選への要望・提言

平成19年9月14日細谷青葉区長と面談をし、要望・提言を手渡ししました。特にお知らせしたいものを掲載しました。

### 自然環境部会 11項目

1. 市が尾駅から寺家ふるさと村への散策路として鶴見川沿いの整備
2. 水と緑の基本計画(青葉区版)の作成
3. 地産地消の推進
4. 農地・緑地保全と在来種の保護
5. よこはまG30の発生抑制、減量化、資源化の推進

### 防災(減災)・防犯・交通部会 9項目

1. 災害時要援護者避難時における各局の連携
2. AED設備の推進
3. 地域防災拠点での運営・総合プロデュースできる人材の育成
4. 緊急地震速報と地域での防災訓練との連動した進め方
5. 自転車歩道通行可の補助標識の改善

### 福祉・コミュニティ部会 2項目

1. 一人暮らし高齢者の実態調査および「見守りハードシステム」の導入/補助金制度の予算措置
2. 青葉区内に養護学校設立のための予算措置

活動期間:平成19年4月から2年間

参加資格:青葉区在住の区民。

グループによる話し合いに参加し活動できる方。

申込み問合せ先:

〒225-0024横浜市青葉区市ケ尾町31-4

青葉区役所広報相談係内

「青葉区民会議委員募集係」

電話:978-2221 ファックス:978-2411

メール:ao-koho@city.yokohama.jp

募 区民会議第7期委員公募  
集 中

青葉区選出の市議員8名、県議会議員4名の方が区民会議顧問です。HPで紹介しています。

顧問の方々には「区民のつどい」に参加していただいたり、勉強会で意見交換をしています。

第7期青葉区民会議ホームページ更新中です。まちづくりへの情報もお知らせします。ぜひご覧ください。

<http://www.aobakuminkaigi.com/>

ご意見はメールでお寄せください。

メールアドレス mail@aobakuminkaigi.com